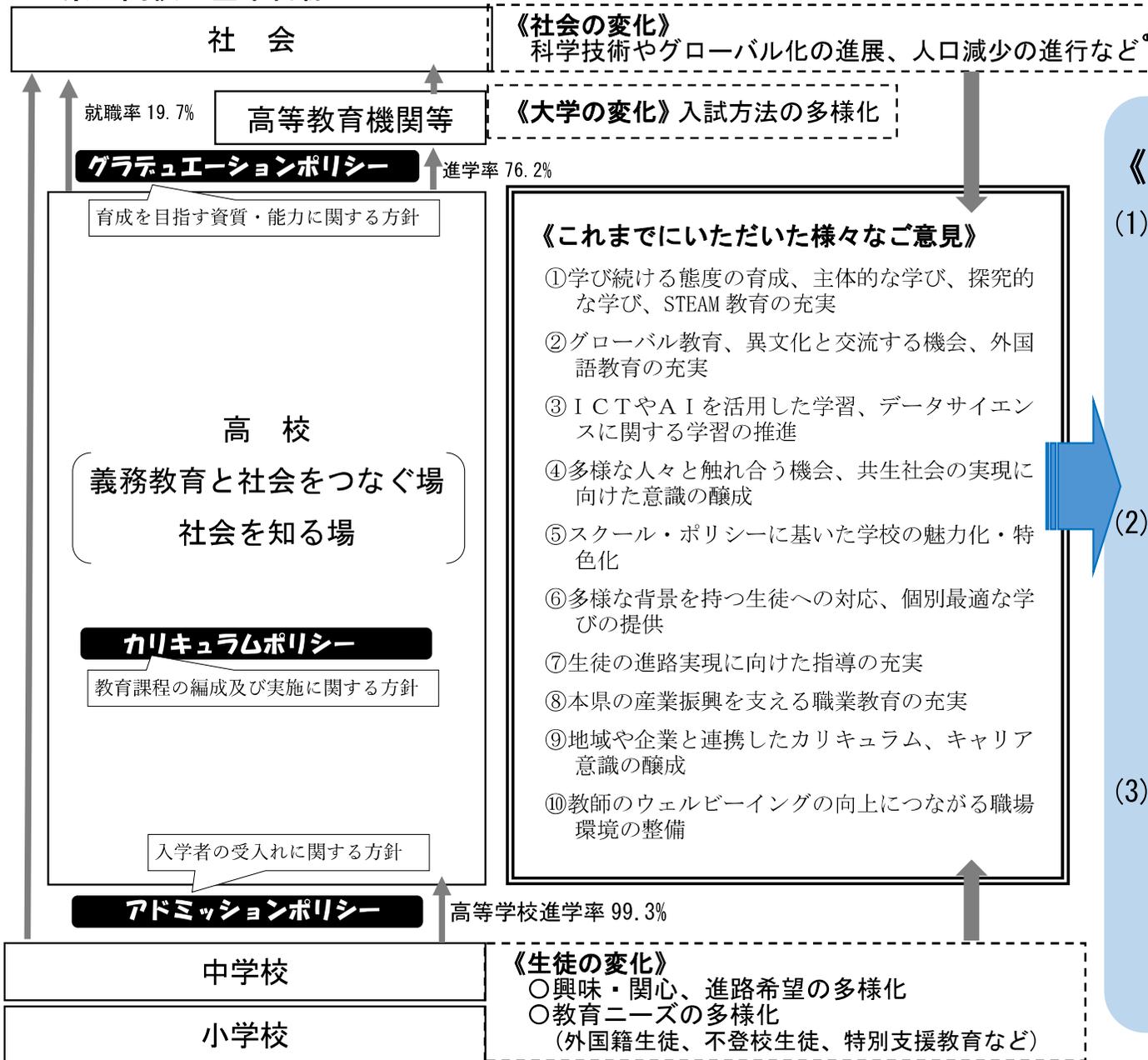


令和 20 年度までに実現を目指す県立高校の姿（案）

1. 県立高校の基本目標



予測困難な時代

進学率、就職率は令和 5 年度学校基本調査より

令和 20 年度までに実現を目指す県立高校の姿（案）

2. 県立高校の配置の姿

(1) どんな「学科構成」を

資料 2

「基本目標」の達成に向け必要と考えられる主な教育内容と、提言で示された「様々なタイプの学校・学科」との親和性

区分	教育内容	必要となる教育課程等	「様々なタイプの学校・学科等」との親和性			
			中高一貫 教育校	国際バカリア 認定校等	外国人生徒 特別枠	全国募集
普通系 学科	①スタンダード	共通教科の学習を主体として、学校の状況やスクール・ポリシーに応じた教育課程の編成				
	②STEAM	卒業後の高等教育機関での研究等を視野に入れた探究活動や教科横断的な学びを実践し、問題解決能力や創造力を育む。	○			
	③グローバル	国際感覚を持って海外と関わる人材を育成するためのグローバル教育を実践する。	○	○		○
	④未来創造	スポーツや芸術文化、データサイエンスなど特色ある普通系専門科目を重点的に学び、部活動の強化も図る。				○
	⑤地域共創	地域の企業や高等教育機関等と連携した教育活動を展開するなど、独自性のある教育を実践する。				○
	⑥エンパワーメント	様々な理由から義務教育の内容について学習不足である生徒等が、基礎学力を習得し、自己肯定感を高め、生きる力を育むことができる教育を実践する。			○	
⑦総合学科	入学後のキャリア教育等を通して、自身の進路希望を明確にし、進路に合った学びを提供する。	複数の専門科目の開設			○	
⑧職業系専門学科	進路を見据え、1年次から職業系の特定専門科目を履修し、各分野で即戦力となるスペシャリストを育成する。	デュアルシステム等の特別プログラムの実施				

(2) どんな「規模」で

県全体の募集定員は4,000～5,000人程度と見込まれることから、全県で20校程度（平均募集定員200～250人）とし、学科の組み合わせにより様々な学びの場を提供する。

学校規模		規模	大規模校（新築など） （1学年400～480人）				中規模校（改修も含む） （1学年200～240人）				小規模校 （1学年120人以下）	
		設置の理由	<ul style="list-style-type: none"> 令和20年度以降も見通した拠点校として大規模校の設置を目指す。 様々な進路希望を持つ生徒と交流し、多様な考え方に接することで他者と協働して社会参画できる力を高める学校 				<ul style="list-style-type: none"> 現在の高校施設の活用を基本とし、中規模校を設置する。 教員配置及び開設科目、部活動の数等を維持し、生徒の選択肢を確保する。 				小規模校ならではの特色ある教育活動が期待される場合や、生徒の通学時間を考慮して設置する。	
学科			(A) 複数の学科構成		(B) 職業系 専門学科	(C) 複数の学科 構成	(D) 普通系学科		(E) 総合学科	(F) 職業系 専門学科	(G) 普通系学科	(H) 職業系 専門学科
		普通系学科	①スタンダード	○	○	○		○		○		
②STEAM			○	○			○					
③グローバル			○	○			○					
④未来創造	○		○	○				○			○	
⑤地域共創	○		○	○				○			○	
⑥エンパワーメント								○	○			
⑦総合学科									○			
⑧職業系専門学科	○			○	○	○	○			○		○
全県 (20校程度)			2校		0～1校	2校	7～8校		2校	2～3校		3～4校
			2～3校			13～15校						

様々な学科構成×様々な学校規模＝幅広い選択肢の提供
 ～令和20年度までに実現を目指す県立高校「次世代とやまハイスクール（仮称）」～



県立定時制・通信制高校、県立特別支援学校、私立高校は令和7年度1学年募集定員（人員）による設置状況